



ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみならずのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918
E-mail: jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp
http://www.jichiro-kyoto.gr.jp/

自治労きょうと

発行所・自治労京都府本部 〒604-0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F
TEL.075-252-5932・FAX.075-231-4918 発行人・岡本哲也 編集人・森本尚秀
定価 一部10円 本紙の購読料は組合費に含まれています。

5 / 15
2024
第878号

誰もが安心して暮らせる 新たなステージへ!

連合京都メーデーが各地域で開催



▲梅小路公園には多くの組合員や家族が集まった

連合京都は4月28日、京都市・梅小路公園で第95回京都中央メーデーをした(自治労約500人参加)。

連合京都の原会長は、「生活者を取り巻く環境は悪化している。安心して働き、生活できる環境実現に向け役割を果たす」と述べ、「重要な国政選挙で政権交代実現を」と訴えた。

誰一人取り残さない安心社会実現をめざすメーデー宣言や地域アピールを採択し、参加者全員の団結カンパローで氣勢を上げた。

また、連合京都は同日、府内5か所の地域メーデーを開催。自治労の各単組はそれぞれの地域メーデーに参加した。



▲交渉では府の主体性ある回答を強く求めた

府本部は4月23日、京都府自治振興課と3月に提出した春闘要求書に関する回答交渉をおこなった。府庁旧館で行われた交渉には、府本部から岡本委員長など8人が出席。府は自治振興課の山崎課長など4人が出席した。賃金水準の改善や人員確保、会計年度任用職員の処遇改善など、具体的内容について京都府の見解を求めた。

府の山崎課長は冒頭、能登半島地震被害に対する現地で活動への協力に感謝を述べ、「賃金給与水準や勤務条件を重視した各市町村への助言」が自治振興課の基本姿勢として回答を進めた。

労使関係ルールについて、「賃金・労働条件の変更等は職員の生活設計に関わる問題。十分な労使交渉の上行されるべきものと認識している」と述べた。

賃金水準について、府本部は「初任給水準や中途採用者の賃金格差があることが、自治体間での人材の取り合いとなっており。ラスパインズ指数100未満の自治体にはもっと上げる努力をする」と訴えた。

府は、「初任給水準について、民間企業の給与が上がり人材確保の観点からも厳しい状況。今後の課題となるが、給与だけでなく全体的に助言したい」と回答した。

2024 自治振興課 交渉

「国準拠」なら制度も合わせて

人員確保の観点からも賃金水準の底上げを



▲山崎課長

特殊勤務手当について「能登半島地震の災害応急手当について国の通知に基づき対応している」と回答。府本部からは「災害応急手当を設けていない自治体も多い。府内からも多くの職員が派遣されており、手当の整備について各自治体に助言を」と訴えた。

地域手当について府は「府南部地域での不均衡は認識している。今年の人動の見直しを注視したい」と話した。府本部は「給与水準、地域手当が高い自治体には人材が流れる。地域手当が0の自治体にも地域手当がつくよう総務省へも上申を」と訴えた。

会計年度任用職員制度の給与改定について、府は「国から実施時期を含め、常勤職員の給与改定の取り扱いに準じた改定を基本とするよう助言している。勤労手当の支給も通知に基づく適切な運用を求めている」と回答した。府本部は「常勤職員との均衡をはかるためにも、昇給に上限を設けて」と訴えた。



アースデイコンサートを開催

府本部は4月24日、地球のことを考える行動するアースデイにちなんでアースデイコンサートを開催。組合員や家族など69人が参加し、京響音楽家弦楽四重奏を演奏した。

第一部はモーツァルトの「アイネクライネナハトムジーク」やブラームスの「ハンガリー舞曲」など4曲が演奏された。演奏者より曲の特徴や背景などの説明を受け、参加者はイメージを膨らませた。

音楽を通じて 地球環境を考えよう

第二部は、「川の流れるように」や「見上げてごらん夜の星を」などの耳なじみのある親しみやすい5曲が演奏された。

今回、コロナ禍以降5年ぶりにドリンクタイムを実施。美味しい料理をいただきながら参加者同士の交流を楽しんだ。

府本部は、地球環境にやさしい暮らし方や省エネ、エネルギー社会をめざし、連合が提案する「エコライフ21」を推進し、ライフスタイルの見直しを求めている。

景などの説明を受け、参加者はイメージを膨らませた。

第二部は、「川の流れるように」や「見上げてごらん夜の星を」などの耳なじみのある親しみやすい5曲が演奏された。

今回、コロナ禍以降5年ぶりにドリンクタイムを実施。美味しい料理をいただきながら参加者同士の交流を楽しんだ。

府本部は、地球環境にやさしい暮らし方や省エネ、エネルギー社会をめざし、連合が提案する「エコライフ21」を推進し、ライフスタイルの見直しを求めている。

府本部は4月24日、地球のことを考える行動するアースデイにちなんでアースデイコンサートを開催。組合員や家族など69人が参加し、京響音楽家弦楽四重奏を演奏した。

第一部はモーツァルトの「アイネクライネナハトムジーク」やブラームスの「ハンガリー舞曲」など4曲が演奏された。演奏者より曲の特徴や背景などの説明を受け、参加者はイメージを膨らませた。

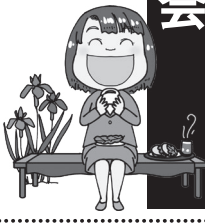
第二部は、「川の流れるように」や「見上げてごらん夜の星を」などの耳なじみのある親しみやすい5曲が演奏された。

今回、コロナ禍以降5年ぶりにドリンクタイムを実施。美味しい料理をいただきながら参加者同士の交流を楽しんだ。

府本部は、地球環境にやさしい暮らし方や省エネ、エネルギー社会をめざし、連合が提案する「エコライフ21」を推進し、ライフスタイルの見直しを求めている。

府本部第181回中央委員会

日時 6月14日(金) 14:30開会
場所 京都市・ラポール京都
(四条御前西入)



双思交

団塊ジュニア世代が高齢者になり、少子高齢化が進むことで2040年には労働者の供給不足が1100万人を超えると予測されている。構造的な少子高齢化により、東京を除くすべての道府県で労働者が不足すると予想されており、東京と地方の格差が一層拡大する見通しだ。京都の労働不足率は約40%と予測されており、全国でもワースト3に入るようである。労働者不足が起きているのは、15歳から64歳の人口が急減するため。2020年比で2040年は約20%減となるようで、京都の状況がいかに深刻であるかがわかる。高齡化がピークに近づく中、働き手となる就業年齢は急激に減少し、行政や産業など、様々な社会システムを少ない人数で運営しなければならない。社会保障に支えられ、現役世代の負担も間違いなく増えるだろう。抜本的な対策がない中、徹底的な機械化や自動化を推進しなければならぬ。シニア層の更なる活躍も不可欠である。いずれにせよ楽をさせてもらえない世の中になるようだ。



▲災害ごみを撮影し現地調査

災害支援
ボランティア
活動報告

家財運び出し等の 事前調査に従事

4月13日から21日にかけて能登半島地震災害支援活動に京都府本部から1名が参加した。

今回の活動は石川県七尾市内での災害支援活動として、七尾市災害ボランティアセンターの運営

業務に従事した。主に、一般ボランティアの方が家財運び出し等の活動に入るための事前調査を担当し、被害に遭われた方の住宅や納屋、倉庫など、1日5〜6件ほどの現地調査を行った。

現地調査では、一般ボランティアが持ち出せるものの危険度の判定をしたり、必要な資機材の数やトイレの有無、水の使用の可否などを確認し、調査票に記入した。

また、災害ごみを仮置き場に処分する際の七尾市での分別の仕方や災害ごみ以外は廃棄できないことを説明したりするこ

第44回京都府本部大会 軟式野球

6チームトーナメント対戦表

5月18日(土)

6月15日(土)

第1シード

Aブランド

八幡市職労

京田辺市職

福知山市職労

第2試合
(11:40)

第1試合
(10:00)

Aブランド

(10:00)

優
勝

宇治田原町職・
城南衛管労組

自治労京都市職

Bブランド

第1試合
(10:00)

第2試合
(11:40)

第2シード

京都交通労組

※2試合目以降の開始時刻は目安です。会場には余裕をもって到着してください。

※2試合目以降の開始時刻は目安です。会場には余裕をもって到着してください。

対戦決まる



▲総務委員会で質問に立つ岸まきこ参議院議員

じちろう mobile

自治労ホームページ
組合員限定ページ

パスワード: jichi2024

第2回 課題別
ウェブ学習会

カスタマー
ハラスメント

事例①: 札幌市職連
事例②: 秋田県職連合

いつでもそばに
自治労を

じちろうモバイルが組合員限定のホームページとしてリニューアル。左記QRコードからアクセスいただきパスワードを入力してログインをお願いしたい。

差別根絶めざそう



▲石川一雄さんの訴えを聞いた

青年部・人権フィールドワーク

自治労青年部は4月11日、埼玉県狭山市で行われた人権フィールドワークにおいて「自治労青年部狭山事件の現地調査・学習会」を開催。府本部青年部から1名が参加した。

はじめに、北野真一連合副事務局長と片岡明幸

落解放同盟中央狭山闘争本部事務局次長から事件の経過や再審開始・無罪判決実現への課題等を聞き、その後フィールドワークを行った。警察の脅迫や誘導によるウソの自白のコースや再現された当時の石川さん宅を実際に体験し、石川さんの自白がいかに矛盾で満ちているか、有罪の証拠とされて

いるものがいかに根拠のないものかを実感した。今後、無罪判決という最終目標に向け歩みを進めて行く中で、まずはこの事件を多くの方に知ってもらうこと、そして部落差別への問題意識を高めていく必要があると強く感じた。

4月11日の参議院総務委員会、岸まきこ参議院議員が「公務職場のカスタマーハラスメント問題をテーマに質疑した。

自治労が2020年10月に行った実態調査では、地方公務員の半数近く(46%)が迷惑行為、悪質クレームを受けていることが明らかとなった。公務職場では何がカスタマーに該当するかなどの定義が曖昧で、かつ、自治体の約4割が未だ対策していないという実態にあ

る。そのため、職員個人が起きやすく、歯止めも難矢面に立たされ、一人で悩むを抱え込み、結果、日ごろからカスタムラの例業務の妨げや職員の精神的負担になっているなど、自治体としても深刻な課題となっている。

本部ウェブ学習会
自治労本部は、4月12日「カスタマーハラスメント対策」をテーマにウェブ学習会を開催。実際にカスタマーハラ

スメント対策に取り組んでいる2単組(札幌市職労、秋田県職連合)から報告を受けた。リニューアルされたじちろうモバイルでアーカイブ配信もされているので、動画を通じて、カスタマーハラスメントについての理解を深め、対策方法を学び、組合員を守るためのカスタムラ対策に取り組もう。

先着20名様限定！府本部独自見積もりキャンペーン実施中！！【キャンペーン期間：2024年5月～6月】

こくみん共済 NEWS
5120A034

自治体職員の
交通事故に
大きな力を発揮する

交通安全による、まさかの失職に備えを！

公務員は交通事故を起こしたことにより、失職することがあります。一瞬の不注意であっても過失の罪を問われて職を失うのです。この場合、懲戒免職と同様に、退職金は支払われない場合がほとんどです。このような事態を防ぐために、じちろうマイカー共済があります！

ご不明な点があれば、まずは所属の組合にご連絡ください。

じちろうマイカー共済
自動車総合補償共済

まさか自分が、
事故を
起こすなんて…

STOP
事故

GIFT

(例)今なら見積もりをいただいた先着20名の組合員に、Amazonギフトカードかスターボックスのギフト券をプレゼント。詳しくは所属の組合まで。